



▲決勝戦で勢いよく札を取る平居さん(右)



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

百人一首カルタ大会 今年も行われる



1月19日に被服室で百人一首カルタ大会が行われ、24名の生徒が参加した。予選は4グループに分かれてのバラ取り形式で、準決勝からは競技式で行われた。

優勝を果たした平居柔さん(1-1)は「中学校の頃はあまり札を取りすぎるとドン引きされたので、ここでも思い切り札を取れると思って参加した」と大会に参加した理由を話した。平居さんは大会を振り返って「思い切りカルタをやれて満足している。今までやったカルタで一番楽

大会結果



▶左から平居さん、瀬戸川さん、遠藤さん

優勝 平居 柔さん
準優勝 瀬戸川 鈴佳さん
3位 遠藤 梨緒さん

しかった」と喜びを話した。準優勝の瀬戸川鈴佳さん(1-6)は「決勝ではかなり差をつけられたが、送り札の駆け引きができてよかった。ちよつと悔しいけど楽しめた」と試合を振り返った。3位の遠藤梨緒さん(2-2)は昨年に引き続き2回目の参加で、百人一首がやりたくて今年も参加したそうだ。遠藤さんはこの大会に参加した唯一の2年生で「周りが1年生ばかりの中で自分だけが2年生でどうしようと思ったが、上位に残れたのでよかった」と笑顔を見せた。詠み手を務めた生徒は「先生から抑揚をつけずできるだけ生かすように教えてもらった。読むのは難しかった」と感想を寄せた。参加した生徒からは「楽しかったが周りのレベルが高く、負けてしまった」「上位の人は特にレベルが高く驚いた」というコメントが挙がった。詠み手も務められた京極文子先生は今年の大会を「参加者が多くてよかった。2年生が参加してくれると盛り上がる」と振り返られた。また1年生に向けて「百人一首は古文の重要ポイントの宝庫なので、1年生のこの時期の勉強にとどまらずにずっと自分のために勉強を続けてほしい」とメッセージを送られた。